

① 本人通知制度導入及びマイナンバーの誤登録問題について

平成27年10月、社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）が施行され8年目となりましたが、他人の番号や情報が誤登録されるなど重大なミスが発生し、個人情報への流出がされるなど国民の信頼度も喪失状態である中、2024年秋までに、紙の健康保険証が廃止され、マイナンバーにひも付けされ一本化される予定であるなど不透明な状態です。住民票や戸籍謄本などの証明書は、マイナンバーカードを使用して取得できます。マイナンバーカードを紛失した場合、個人情報が流失し悪用されるリスクも否めません。実際、戸籍謄本や住民票を不正に取得し、還付金詐欺や事件、犯罪等に使用された事例もあります。現在、全国でも、多くの自治体が本人通知制度の導入を行っており、事件や犯罪、不正請求や人権侵害を防ぐ意味からも必要不可欠な制度だと拝察します。そこで、今後の課題や問題点など本人通知制度導入に向けた考えを伺います。

- (1) 現行の健康保険証の廃止についての本町の見解を伺います。
- (2) マイナンバーカードの交付状況を伺います。
- (3) 本町でのマイナンバーの誤登録件数と、誤登録に対する住民対応、事務量の負担について伺います。
- (4) 全国でもマイナンバー制度を利用した還付金詐欺事件などが発生していますが、本町での詐欺被害等は把握できているのか、また今後の対策はどのように考えているのか伺います。
- (5) 本人通知制度は、不正取得や犯罪、人権侵害の是正として必要な手段であると思います。長崎市は平成28年に、五島市は平成29年に、佐世保市は令和元年に開始されていますが、本人通知制度の条例や要綱の制定など含め本町での導入に向けた進捗状況を伺います。
- (6) 現在までに、住民窓口において証明書の交付申請の不正取得が行われた把握事例を伺います。

② 資源化物拠点回収の見直しについて

資源化物拠点回収については、これまで多くの住民からの見直しの考えが出されています。今回も、住民の方からの依頼を受け、「高齢者等にとって、金属類など重たいものを遠方の拠点場所まで運ぶのが大変です。早く近くのステーションに変更してください」との相談をお受けしました。数十年経過した制度をそろそろ確実に見直す必要があると考えます。各自治会が高齢化した現在において、ゴミ排出困難者へのやさしい合理的配慮のある環境行政が必須だと考えます。よって以下の質問を伺います。

- (1) 現在、金属類、びん類、紙パック、布類等は、拠点回収となっているが、ゴミステーション回収変更への見解と変更はいつ頃になる予定なのか伺います。
- (2) ゴミステーションへ変更した場合の人件費など経費はどのくらいか伺います。
- (3) 高齢者や生活弱者へ配慮した改善策などあれば伺います。